

令和2年3月12日

定期的確認結果（公示）

大学共同利用機関法人自然科学研究機構 機構長選考会議

大学共同利用機関法人自然科学研究機構長の定期的確認結果について、大学共同利用機関法人自然科学研究機構機構長選考等規則第11条第5項の規定に基づき公表する。

記

1 定期的確認結果

平成30年度における小森機構長の業務執行について、適切に執行されていることを確認した。

2 理由

小森機構長は、「国際共同研究を通じて世界最高水準の自然科学研究を推進」及び「世界最先端の共同利用・共同研究環境を用いて大学等の研究力強化に寄与」を目標として掲げ、これらの実現に向けた各種取組を通じ、優れたリーダーシップを発揮した。

【主な取組】

- ・ 海外機関との機関・分野を超えた組織的連携を目指す国際連携研究センターの設置による、国際的かつ先端的な共同利用・共同研究の推進支援
- ・ 自然科学大学間連携推進機構（NICA）の運用による、大学の意見も反映したネットワーク型共同利用・共同研究の更なる推進・発展
- ・ 産学連携準備室の設置等、組織改革により産学官連携推進体制を整備
- ・ AAAS（アメリカ科学技術振興協会）が運営する「EurekAlert!」を活用した海外への情報発信・広報力強化
- ・ 機構長のリーダーシップによる女性研究者雇用支援経費の設置

国立大学法人評価委員会による平成30年度に係る業務の実績に関する評価においても、自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標の項目においては「中期計画の達成に向けて順調に進んでおり一定の注目事項がある」との評価を受け、その他の項目においては「中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」との評価を受けており、期待した業績を挙げていることが確認された。

今後も、大学共同利用機関法人である自然科学研究機構には、自然科学の新たな展開を目指した新しい学問分野の創出とその発展への積極的な取組を期待したい。